

・合宿の2日間を振り返って思うのは、みんなと色々なものを「共有できた」時間だったということ。

自分の課題や弱さ。昨年の成果班の活動では見せなかった部分を、全員で出し合った時間だった。

以前よりずっと他のメンバーのことを身近に感じるし、1年前までは子育てをしながら自己研鑽に励む2人のことをスーパーウーマンのように思っていたところがあったけど、今はそうは思わない。日々色々なものを捨てて、葛藤や工夫を繰り返して、今この場所にいることがわかるからだ。

合宿の最初に、陽子さんから、「能動的に作った人間関係がどこまでいけるのか見てみたい」という話があった。

チームItoは、自然に仲良くなった間柄ではなく、成長したいという共通の想いの元集まって、関係を築くところからのスタートだった。

今までの人間関係のように、気の合う人や価値観が合う人と自然と関係を深めていくのとは違って、自然に任せていたら、いつまでたっても距離が縮まらない。

こういう関係を築くためには、こういう関りが必要だよねと、全員が意識して行動を変えた。その集大成が合宿であり、承認式だった。

今までの人間関係とは、成り立ちからして全然違う。

合宿までは、承認式に代わる基準を達成するために必死で、余裕なんてなかったけど、合宿が終わった後に、「自分たちで作ったんだ」という実感が初めて湧いて来た。

合宿に関する投稿をするのはこれで5本目。合宿に参加していないメンバーは、そろそろやめてくれと思っているかもしれない(笑)

でも、あえて伝えたい。みんなも望めば参加できたんだよ、と。こう書くと偉そうに聞こえるかもしれないけど、選択肢がいくつかあった中で、選ぶか選ばなかったかの違いだけだと思うからだ。

選べば、頑張らざるを得ない。例えメンバーとしての基準に達していなかったとしても、気持ちさえあれば、どうやったら達成できるかみんなで力を貸し合うことができたと思う。

10年プロジェクトは、望めば成長できる環境が用意されてると思う。それは、チームItoのメンバーに限らず、全員にだ。

これからチームItoのメンバーは、「踏み込む」の次のステップとして、「押し付ける」という課題に向き合うことになる。

承認式の「押し付けの練習」で陽子さんが言ってくれた「投資信託」は、重い腰を上げて、ようやく今月からスタートした。投資の選定にはチームItoのメンバーからもアドバイスをもらった。

先日はコーチングスキルの不足を痛感していたタイミングで、同じくチームItoのメンバーがコーチング練習会ベーシッククラスへの参加を勧めてくれて、来月から参加することを決めた。

私には、自分に甘いところ、面倒で先送りにしてしまうところがある。だからこそ、人の力を借りて進めていくことが必要なのだと思う。

押し付け合うことで、もっともっと良い循環がコミュニティに生まれるのだろうと、確信に近いものを感じた。

この野生ポストは、私なりの押し付けの練習でもある。チームItoのメンバーとだけでなく、みんなでこの循環を生んでいけたらいいなと、理想を描いている。

——その2——

合宿では、それぞれが企画したイベントの時間に加え、日常生活を共にしたことも、とても印象に残っている。

初日は昼から予定がみっちり詰まっていて、夕飯後もラウンジでしゃべり続け、部屋に戻ろうとしたのが23時過ぎ。さあ、お風呂に入ろうかというタイミングで、陽子さんはラウンジに残ってアウトプットをするというので驚いてしまった。ストイックに頑張っているというよりは、旅先でも日常やっтерることを変わらずやるというスタンスなのだろうと思う。

朝も、目が覚めた頃にはもう陽子さんはアウトプットを開始していた。目標に対してここまでこだわるからこそ成果が上がるんだというのを、目の当たりにさせてもらった。刺激をもらって、私も朝から感想を1本仕上げることができた。

チームItoのメンバーのAさんは、何をするにも行動が早くて、お酒を飲んでもお金のことにはきっちりしているところ等はイメージ通りだったが、対面の方がより大らかで、気兼ねなく素を出してくれていると感じた。

また、今までAさんが個人ボード等で課題として書かれていたことについて、私の中では具体的にイメージができていないところがあったのだが、雑談の中でマイノリティの立場に

なった時に落ち着かなさそうにしている様子など、リアルな場だからこそその気付きがあった。

待ち合わせ場所に大荷物を抱えて現れたKさんは、アウトプットの企画のために札幌から本を4冊も持参してくれた。私がお土産にお願いした生協のチラシもたくさん持って来てくれて、オンラインのやり取りでも十分わかっていたつもりだったけど、Kさんのホスピタリティに改めてじーんとした。また、以前釜板で麻美さんがコスメを紹介していたのが印象に残っていて、Kさんに会ったらコスメの話をしたいと思っていた。朝メイクをしながら化粧を教わったのも合宿ならではの思い出だ。

また、陽子さんのMCTオイルや、Kさんの鼻うがい等、みんなの生活習慣が垣間見えたのも、寝食を共にしたからこそ発見で、新鮮だった。

オンラインは便利ではあるけど、同じ空気を吸って、経験を共にすることでしか得られないものがあるんだなあ。

1泊2日、時間にすると約1日半だけど、1日半とは思えないくらい濃密な時間だった。

(E.M 40代女性 埼玉県)